

2023年度  
新設

設置認可申請中

社会健康医学の最先端において未解明の課題に果敢に取り組む研究者を育成

## 社会健康医学専攻 博士後期課程

Doctor of Philosophy in Public Health (PhD)

募集人員：2名

取得学位：博士(社会健康医学)[Doctor of Philosophy in Public Health]

修了要件：・15単位の履修 ・博士論文の最終審査に合格

公衆衛生学のコア5領域はもとより、最新の生命科学や情報解析学など関連領域の学識を基本に、社会が必要とするエビデンスの導出とその社会実装を通じて広く人々の健康に貢献できる能力を身につけた研究者を育成します。



### 求める人物像

- 1.健康と医療・環境に対する高い関心と探究心を有し、新たな視点で課題を抽出するとともに、その解決のために必要な研究の立案と遂行に意欲のある者
- 2.社会健康医学の最新の研究成果や知見の社会実装を通して、健康課題の解決に取り組む意欲のある者
- 3.社会健康医学の博士前期課程(修士課程)修了に相当する学識及び語学力をさらに向上させ、研究やその成果の社会実装を介して学術領域の発展に寄与する意欲のある者

### カリキュラム

基礎科目	社会健康医学特講	社会健康医学の最先端研究の内容や成果、社会実装に対する取り組みなどについて実践的に学びます。
特別演習科目	博士課程セミナー1・2・3	社会健康医学研究の方法、研究成果、成果の社会実装プロセスを理解・吟味することで視野を広げ、洞察力及び学際性をふまえた研究遂行能力を養います。
特別研究科目	社会健康医学研究	社会健康医学における具体的な課題を自ら設定し、当該領域の学術的発展に寄与するとともに、実践的な課題解決に向けた方策の提案にも貢献する研究を行います。

### 出願資格

修士の学位又は専門職学位を有する者(取得見込みの者を含む)、医歯薬等の6年制の教育課程を修了し個別の入学資格審査により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者 等

### キャリアパス

国内外の教育研究機関や研究所、医療機関等において、社会健康医学の最先端研究と成果の社会実装に取り組むことで、我が国のみならず世界が抱える健康課題の解決に果敢に取り組む高度な研究者を育成します。

- ・アカデミアで社会健康医学を考究するとともに後進の育成に携わる教育研究者
- ・国や地方自治体の研究機関において行政施策の立案に必要なエビデンスの導出や施策の社会実装に資する研究者
- ・医療機関において臨床医療に携わりつつもその環境を活かして最先端の社会健康医学に取り組む医師等に代表される臨床研究者
- ・企業において臨床・予防医療に資する薬剤、製品、サービスの開発と社会実装に資する研究者